


SDGs おおたゴールドスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDGsの内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDGsの推進に取り組むことを宣言します。

<宣言日> 2025年4月29日

事業者情報					
事業者名		川崎重工業株式会社			
代表者 職・氏名	職名	代表取締役社長執行役員			
	氏名	橋本 康彦			
ホームページ URL (任意)		https://www.khi.co.jp/			
事業者ロゴ (任意)					
事業者としての2030年のあるべき姿					
<p>新たな時代における社会課題（地球環境保護のための脱炭素社会の実現、先進国を中心とした高齢化社会・労働力不足への対応、医療などの地域間格差の解消、自然災害の抑止や早期復旧、エネルギーの安定供給など）に対し、当社が掲げる3つの注力フィールド「安全安心リモート社会」、「近未来モビリティ」、「エネルギー・環境ソリューション」において各種ソリューションを社会実装し、社会課題解決を図る。</p>					
<p>これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDGs 17のゴール・目標（複数選択可） （これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）</p>					
					
		○			
					
○	○	○		○	○
					
○				○	

目標の達成に向けた重点的な取組内容等			
分野 (該当分野に チェック) (複数選択可)		SDGsゴール (メイン・サブ) の数字を記入 (複数記入可)	目標の達成に向けた重点的な取組
①	経済	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>安心安全リモート社会</p> <p>産業、医療・福祉分野の労働人口不足を解消し、持続可能な社会と経済成長実現のため以下を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 産業用ロボット普及による製造業・サービス業の自動化、自律化および遠隔化支援 ● 介護施設への適切な介護機器やロボット導入支援 ● 医療分野における遠隔手術実現に向けた実証 ● 工場や商業、公共施設などにおける屋内の位置情報把握と位置情報データを活用した業務改善および効率化
	社会	<input checked="" type="checkbox"/>	
	環境	<input type="checkbox"/>	
②	経済	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>近未来モビリティ</p> <p>物流における労働人口不足解消、大規模施設における効率配送、また都市化による交通渋滞や自然災害時の物流・交通手段の遮断解消に向け以下を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 災害時使用等を想定し、無人かつ垂直離着陸可能なヘリコプターとドローンの強みを兼ね備えた空の物流用モビリティ開発と実証 ● オンラインで簡便に手配可能なヘリコプター移動サービス提供 ● 病院、マンションなど大規模施設における業務効率化および省力化を目的とした屋内配送ロボット導入と実証
	社会	<input checked="" type="checkbox"/>	
	環境	<input type="checkbox"/>	
③	経済	<input type="checkbox"/>	<p>エネルギー・環境ソリューション</p> <p>カーボンニュートラル社会実現に向けて以下を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 水素サプライチェーン構築に向けた実証推進 ● 水素サプライチェーン構築前の移行期に活用する水素利用製品開発および普及 ● 水素サプライチェーン全体の GHG 排出量を算定する水素プラットフォームの実証および開発 ● CO2 分離回収、利用 (CCUS) に関する開発およ
	社会	<input type="checkbox"/>	
	環境	<input checked="" type="checkbox"/>	

				び実証 ● 電動化製品拡大による低炭素・脱炭素化
--	--	--	--	-----------------------------

進捗報告			
	進捗状況（1年目）	進捗状況（2年目）	進捗状況（3年目）
①	<p>手術支援ロボット「hinotori™」による症例数の拡大や遠隔手術に向けた複数の遠隔実証実験を実施するとともに、介護分野では行動計測データ分析を活用した介護業務支援サービス事業の実証を行った。</p> <p>また、屋内位置情報サービスの商業施設への導入や、リモートロボットで事業者とワーカーをつなぐサービス「Remolink™」の提供を継続し、生産性向上および労働力不足解消を目指している。</p>		
②	<p>株式会社かんでんエンジニアリング、エアロトヨタ株式会社と協力してVTOL無人機「K-RACER」を用いた送電鉄塔向け物資輸送サービスの実現に向けて取り組んでおり、関西電力送配電株式会社の甲賀訓練場（滋賀県甲賀市）で実施した実証試験において荷揚げから荷降ろしまでの一連の飛行に成功。</p> <p>加えて、屋内配送ロボット「FORRO」の医療施設での正式稼働開始や、ヘリコプター移動をワンストップで提供する「Z-Leg™」サー</p>		

	<p>ビスは空港・ヘリポート以外の場所で離着陸を可能にする場外離着陸場の新設手続きを進め、全国 100 ヶ所を突破。観光・ビジネスの利便性向上に留まらず、地域間のアクセス格差緩和や災害時の即応性向上にもつなげていく。</p>		
<p>③</p>	<p>液化水素サプライチェーンの商用化に向け、関連企業との連携や実証が前進。また、関西電力株式会社、BIPROGY株式会社と、姫路第二発電所の水素混焼発電において、水素製造から電力供給までの一連のプロセスにおけるCO₂排出量を算定の上、水素をトラッキング(追跡・記録)し、環境価値を管理する実証を開始。水素製造のエネルギー源や製造時間・場所といった由来を明らかにした電気を電力利用者へ届けることを目指していく。</p>		